

消費者安全調査委員会の動き 第41号

(平成28年9月23日)

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第48回消費者安全調査委員会（平成28年9月23日）

- 体育館の床から剥離した床板による負傷の事案
調査の経過報告を審議し、決定しました。本事案は、年齢を問わず、多くの消費者が利用する公共性の高い体育館という施設において、被害の程度が重大な事故が発生しているながらそのことがあまり知られていないこと、対策が十分に行われず、全国で類似の事故が発生している可能性を重視し、昨年9月に選定したものです。
経過報告においては、事故の発生を知っていただくという観点から、事故の発生した体育館において見られた不具合の例を示しました。
委員会としては、今後、最終報告書の公表に向けて、引き続き、原因の究明、再発防止策の検討を進めますが、体育館の関係者が、このような事故の発生を知って、類似の危険箇所を放置せず必要な補修を行うことや、「危険箇所を見つけたら管理者に報告する」ことを利用者に周知するなどの対策を行っていただきたいと思います。
経過報告は、消費者安全調査委員会のホームページでご覧いただけます。
<http://www.caa.go.jp/csic/action/index5.html>
- ワンポイントアドバイス「一酸化炭素中毒事故について」
住宅火災で亡くなる4割が一酸化炭素中毒です。再発防止策としてこのことを消費者が知っておくことが必要と考えました。
詳細は、http://www.caa.go.jp/csic/action/pdf/160923_advice.pdf
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち2件については調査を行わないことになりました。残りの案件（44件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で情報収集を行った上で、調査委員会において判断していくこととなります。
- 「消費者安全調査委員会のこれまでの活動」
これまでに評価・調査した事案の概要と委員のコラムをまとめて掲載しました。
詳細は、http://www.caa.go.jp/csic/action/pdf/160923ugoki_all.pdf

部会の動き

- 工学等事故調査部会（9月上旬に開催）
 - ・ 体育館の床から剥離した床板による負傷
経過報告の案について事務局から説明を受け、委員会審議に向けた議論を行いました。
 - ・ 家庭用コージェネレーションシステム
調査の進捗状況について事務局から説明を受け、調査の進め方等について審議を行いました。